東京東村山ロータリークラブ　国際ロータリー第2580地区

週報

国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大地をつなぐ

地域を育み、大陸をつなぐ

Vol.44　第2133回例会　2010.8.5

今年度会長テーマ　温故知新　そして　和

■司会：
熊木例会運営委員

■点鐘：山本会長

■国歌：「君が代」
■合唱：ロータリーソング
「奉仕の理想」

◆ソングリーダー：
熊木会員

■お客様紹介：
土方パスト会長

◆ゲスト：
入会予定者　樋口 剛史 様

◆ビジター：
東京東大和ＲＣ　今野 真一 様
守重 勝弘 様

■会長報告　山本会長

皆様、こんにちは。さて本日は第5回目の例会になります。入会予定者の樋口剛史様、ようこそいらっしゃいました。
では、本年度のスローガンと重点事項の復唱をさせて頂きます。

「温故知新　そして　和」古き　を　たずね　新しきをしれば　もって師となるべし。
①例会に出席し、懇親を深め、自分自身に有意義な例会を見つけよう。そして例会の楽しみを見つけよう。
②例会を欠席したら、メークアップを必ずしよう。
③入会時のスポンサーは新人メンバーのメークアップの面倒を必ず見よう。
④食事の廃棄を少なくする為に例会を欠席する時には、前々日までに事務局に連絡をいれよう。
⑤夜間例会、懇親会、旅行に奮って参加しメンバーの懇親を深めよう。
⑥クラブメンバーの全員卓話を盛り上げよう。
⑦マイ箸を失くさない様に使おう。
⑧交換留学生をしっかりと育てよう。
⑨阿部ガバナー補佐の掲げた、キャッチアップ90(出席率90%以上)を実現しよう。

お陰さまで7月は出席率の90%を実現出来ました。皆様のご協力のお陰です。感謝致します。是非8月90%を達成しましょう。勿論100%が達成出来れば素晴らしい事ですが。
まず、昨日の理事会の報告を致します。
①7月の収支明細報告について、承認されました。
②例会計画(プログラム)
10/26(火)　I・M　⇒10/14(木)例会変更にて休会

■例会日／毎週木曜日　12:30～13:30
■例会場／八坂神社　社務所
〒189-0013　東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／野村 高章　石山 敬
■事務所／〒189-0013
東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL　042-393-7500

10/28(木) ガバナー公式訪問
2/16(木) 地区大会⇒例会変更
3/16(水) ＦＲＣ⇒3/17(木)例会変更にて休会
③クラブ協議会について
2010年規定審議会にて決議されました10-06、Ｅクラブについて本来のロータリーの基本理念である、例会にまず出席し親睦を深める事によりメンバーのコミュニケーションをはかり、おのずと職業奉仕活動につながる。この理念より外れるために前回の理事会決で反対と決まりました。
また、10-87、五大奉仕部門「新世代奉仕」を加える件についても同じ理由と各クラブの自主性を無視し、細則変更等多くの問題を抱えるため反対と決まりました。後程、クラブ協議会にて補足説明を行い、決議を取りたいと思います。
次に会務報告を行います。本来ですと会長挨拶に移りますが、本日は入会予定者の樋口剛史(ひぐちたけし)様もお見えになっておりますし、必要案件がめじろ押しのため、割愛致します。

■幹事報告　高橋(眞)直前幹事

■ガバナー事務所：
・委任状の受理について
2010-11年度国際ロータリー第2580地区
青少年交換来日学生カウンセラー
野澤 秀夫 会員

・第9回ロータリー全国囲碁大会の案内について
2010年10月16日(土) 10:00～
於 日本棋院会館

・クラブ研修リーダー・研修委員長・情報委員長会議について
9月13日(月) 16:00～18:00
於 京王プラザホテル

・「ガバナー月信」クラブ自慢の特集の告知」
当クラブ1月号予定 2ヶ月前に原稿依頼あり

・青少年交換留学生の来日予定について
8月5日(木) オーストリア航空 0S51便
08:05着 第一ターミナル南ウイング

・2009-10年度地区会計決算の受理

■東京福生中央ＲＣ：
「福生七夕まつり」の案内の受理
8月5日(木)～8日(日)
14:00～19:00
於 例会場→休憩所として提供

■東京ベイＲＣ：
卓話のお願いについて→野澤秀夫会員あて
2010年11月11日(木) 12:30～13:30
於 ロイヤルパークホテル

■東京東大和ＲＣ：
2010-11年度多摩分区親睦ゴルフ大会の案内について
2010年9月13日(月)
於 西武園ゴルフ場
各クラブ8名以上
※地区大会予選を兼ねています

■クラブ奉仕委員会：
地区卓話者リスト更新のお願いについて
卓話者紹介、更新
〆切り 8月31日(火)

■東村山市社会福祉協議会：
「平成22年度長寿を共に祝う会」案内の受理
9月11日(土)～25日(土)各土日祝日

■バギオ基金委員会：
地区バギオ基金委員会の卓話依頼について
バギオ基金についての理解と協力を得る為に卓話をさせてほしいとの件

■社会奉仕委員会：
(在京)クラブ社会奉仕委員長会議の案内の受理
2010年8月31日(火) 15:30～17:30
於 ホテルメトロポリタンエドモンド

■例会変更：
所沢中央ＲＣ 7月26日(月)→移動例会

■出席報告　中條例会運営委員

在籍会員数	出　席	免　除	欠　席	出席率
35	30	0	5	85.71

■前々回メークアップ修正後前々会欠席：3名

■前々回出席率メークアップ修正後：91.43%

■前々会メークアップ者：
相羽会員：東大和ＲＣ
赤木会員：理事会
二ノ宮会員：所沢中央ＲＣ
枚山会員：理事会

■ニコニコＢＯＸ　高橋(徹)クラブ管理委員

■皆出席：
二ノ宮会員(8回目)

■会員誕生祝月：
神崎会員

■令夫人誕生祝月：
小町会員、金子会員

◆東京東大和ＲＣ今野様、守重様：
本日は10月26日のＩＭのご案内に伺いました。多くの会員様の出席をお願い申し上げます。

◆細　渕　様：暑い毎日ですね。先日は家内の誕生祝に素晴らしい花を有難うございました。うれしいです。家内と二人で感謝しています。山本会長、中丸幹事を中心に東村山ＲＣの益々の発展をお祈りします。

◆山本会長：東京東大和ＲＣの今野ＩＭ実行委員長、守重様ようこそいらっしゃいました。入会予定者、樋口剛史様ようこそいらっしゃいました。楽しいロータリーライフをご一緒しましょう。皆様、本日のクラブ協議会よろしくお願いします。

◆高橋(眞)会員：
本日は、中丸幹事の代役を務めさせていただきます。今野様、守重様ようこそお越し下さいました。入会予定の樋口様お待ちしております。皆様ありがとうございます。

◆小町会員：今野様、守重様、ようこそおいで下さいました。樋口様、ロータリーを楽しんで下さい。

◆隅屋会員：先月末例会後こせがわさんのうどんをお土産に頂きました。昼食・夕食、東村山の食文化を堪能しました。ありがとうございます。

◆漆原会員：入会予定の樋口さん、東村山ロータリーへようこそ。

◆野澤会員：東京東大和ＲＣの皆さんようこそいらっしゃいました。諏訪ＲＣを訪問してきました。バナーをどうぞ。

本日のニコニコ合計：　43,000円
累　　計　：　307,000円

■ビジター挨拶

■ＩＭ実行委員長
今野 真一 様

多摩分区ＩＭの開催予定日は、平成22年10月26日(火)となっております。

■委員長報告

■樺澤会員研修委員長

会員研修委員会は、クラブ細則によれば、クラブ例会のプログラムにおいて、毎月雑誌の簡単な紹介を手配することと規定されていますので、実験的に、しばらくの間、ロータリーの友の記事についてご紹介させて戴きたいと思います。なかなか時間をいただけず1ヶ月過ぎてしまい、8月号が配布されてしまいましたが、ロータリーの友7月号についてご紹介させて戴きたいと存じます。
恒例のとおり、レイ･クリンギンスミスＲＩ会長のご紹介と「地域を育み　大陸をつなぐ」のテーマについて説明され、なかなか哲学的で理解し難いところがあると思いますが、この一年間のテーマですので是非お読みいただきたいと思います。
また、「成功の法則・松下幸之助はなぜ成功したか」とＰＨＰ総合研究所の前社長江口克彦様が国際ロータリー第2680地区第二阪神グループのＩＭの講演要旨が掲載されています。松下幸之助氏は出かけられるときには、必ず松下電器の社章とロータリーのバッジを襟につけていられたそうです。そして、社員、お客様を喜ばせるかに心掛けておられたそうです。まだ、お読みになっておられない方は是非ご一読されますことをお勧めします。
また、当クラブが誕生した頃かと思いますが、日本人で初めてＲＩ会長となった東ヶ崎さんは、米国にてお生まれになり、その後日本に移住され、ジャパンタイムスの社長を務められていた頃とのことです。東ヶ崎さんがロータリークラブに入会されたのは、第二次世界大戦中に東京ロータリークラブが解散させられて水曜会として例会を開いていた当時に入会されたというようなエピソードが紹介されています。

「ロータリー定款の第4条綱領の翻訳」について、近藤ＲＩ理事、Ｒ研究実行委員長のＲＩ第2660地区の井上パストガバナー及びＧ協議会、綱領等翻訳問題調査研究小委員会の鳥居委員長（ＲＩ第2690地区）の調査について、会長から皆様に報告するようにとのご指示がありましたので、ご報告させていただきます。

このアンケートは、ロータリー定款の第4条の「綱領」は翻訳に問題があるので、検討したいとのことで、アンケートの回答が求められたもので、設問からみて、英文に沿って忠実に翻訳すると別紙に記載のとおりになると示唆しているものと考えられます。

確かに、現行の定款の内容は日本語として違和感がある部分、或いは難解の部分もあることは確かです。そして、定款である以上、どなたでも容易に理解できるようにされるべきであると考えます。

しかしながら、私は、歴史の重みを尊重し、単に翻訳の問題としてのみで定款第4条の綱領を改正するのであれば、改正の必要はなく、そのまま継承すべきであるとの趣旨でアンケートを回答したいと考えます。

ロータリー定款第4条の綱領は、永年に亘って先人から延々と伝承されたもので、我がクラブもこの綱領で立派なロータリークラブとしての活動を行って参りました。この綱領を別紙のとおりに改正することによりロータリークラブの奉仕活動が格別に変化することもないと思料します。

例えば、綱領に「奉仕の理想」とありますが、この「奉仕の理想」と訳されたのは、米山梅吉さんといわれています。そして、この「奉仕の理想」はロータリーソングとしても歌われており、日本のロータリーにおいては確実に定着しており、これを「奉仕の理念」として改正したとしても奉仕活動が変化するとも思えません。

さらに、ロータリーの友に掲載されている「ロータリーの綱領」と定款第4条の「綱領」との関係も明確ではありませんし、さらに、この綱領は四大奉仕を前提としており、今回の規定審議会の定款改正では、第五番目の奉仕部門として「新世代奉仕」を加えることになり、整合性にも問題があり、翻訳のみの問題ではなく、本質的な問題もあると考えます。

そこで、綱領を翻訳改正するとしても、綱領が制定された背景、翻訳者の意図などを検討し、また、考察し、単に原文の英文の翻訳を訂正するということには大いに疑問を感じます。

また、ロータリーの友に掲載されている「ロータリーの綱領」と定款第4条の「綱領」との関係も明確ではありませんし、さらに、この綱領は四大奉仕を前提としており、今回の規定審議会では、第五奉仕部門「青少年奉仕」を加えることになり、整合性にも問題があり、翻訳のみの問題ではなく、本質的な問題もあると考えます。

この綱領については、東大阪みどりロータリークラブが邦文定款第4条への疑問として、研究されておられるようで、単に翻訳の問題だけではなく、定款の改正などの経緯からも論及され、このたびのアンケートが翻訳の問題のみで取り上げたのは残念であったと思います。

一方、當麻会員が提唱するように、ロータリーの定款には理解し難い点もあり、ロータリーの目的を誤解されるおそれもないとは云えませんが、この点は適宜会員に対する情報提供（研修）、解説などで配慮すれば解決できるものと考えます。

また、「ロータリーの綱領」と別に「ロータリーの理念」として「ロータリーは人道的な奉仕を行い、あらゆる職業において高度の道徳的水準を守ることを奨励し、かつ世界における親善と平和の確立に寄与することを目指した、事業および専門職務に携わる指導者が世界的に結び合った団体である。」と定義されています。

この「ロータリーの理念」の位置付けは明確でありませんが、整合性を考慮する必要もあると考えます。

ロータリーの綱領の翻訳について

ロータリーの綱領（現行）	ロータリーの目的（翻訳改正）
ロータリーの綱領は、有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹し、これを育成し、特に次の各項を鼓吹育成することにある：	ロータリーの目的は、有益な事業の基礎として奉仕の理念（または奉仕の考え、或いは奉仕の精神）を奨励し、これを育成し（または、奨励し、或いは強く奨励し）、詳しくは次の各項を奨励し、育成（または、奨励し、或いは強く奨励）することにある：
第1 奉仕の機会として知り合いを広めること。	第1 奉仕の機会が与えられたときに、交友（または、人間）、関係を広めること。
第2 事業及び専門職務の道徳水準をたかめること；あらゆる有用な事業は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務の品位あらしめること；	第2 職業人の道徳水準をたかめること；あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること；そしてロータリアン各自が社会に奉仕する機会が与えられたときに、その業務の品位あらしめること；
第3 ロータリアンすべてが、その個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること；	第3 ロータリアン各自の個人的、職業的、ならびに社会的な生涯において常に奉仕の理想を適用すること；
第4 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職に携わる人の世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。	第4 奉仕の理想に結ばれた、職業人に携わる人の世界的な団体によって、国際間の理解と親善と平和を推進すること。

■土方パスト会長

「あの日を忘れない」のポスターの説明がありました。

■クラブ協議会

■司会：高橋直前幹事

■山本会長

Ｅクラブとは？（ＲＩ　ＨＰより）
数年間にわたり試験プロジェクトが行われてきたＥクラブは、国際ロータリーで恒久的に設けられることとなりました。「電子的な通信手段を通じて会合するロータリークラブ」と定義されるＥクラブは、1地区に2つまで認められます。オンライン・フォーラムのみで例会を行う試験的Ｅクラブがある一方、電子的手段と直接顔をあわせる例会とを組み合わせているＥクラブもあります。

Ｅクラブとは？
（ＲＩＤ2640ロータリー情報規定委員会　西尾幸祐 氏）
前々回（2004年）の規定審議会で採択されロータリーが新時代に対応できるよう始めた試験的プロジェクトのひとつで、「業務多忙と出張、健康問題、あるいは既存クラブから距離的に隔たっているため、物理的にクラブ例会への出席を維持できない、特別なニーズを持つロータリアンのためのもの」で「週に一度のオンラインによる例会で交流する」と手続き要覧Ｐ3に記載されています。つまりインターネットにつなぐことで出席し、インターネット上で会話するクラブです。現在、すでに世界で14クラブが活動しています。

次に代表的な賛成意見と反対意見を紹介致します。

◆Ｅクラブに対する［賛成意見］
・既存のクラブでは時間的に制約が多く参加できないが、ロータリーに魅力を感じる人たちに門戸を広げることになる。
・現在の例会より遥かに低額の費用で例会が運営できる。
・ポリオをなくすなど世界的なロータリーの夢の実現には、財団へのさらなる協力が必要であり、世界的にクラブ数及び会員数を増やす必要がある。
・現在実際にＥクラブが存在し活動している。

◆Ｅクラブに対する［反対意見］
・原則として顔を合わせないクラブで、本当に親睦が図れるのか？
・ロータリーという一つの組織に全く異質の組織ができることになるのでは？
・ロータリーの良さは、入会し親睦を深めて次第に理解できるものであり、時間的にも金額的にも既存のクラブよりはるかに負担の少ないＥクラブと、入会時点でもし比較されれば既存クラブに入会する人は更に減るのでは？
・もし認めるとしても地区が広大で、例会に距離的に出席できない会員に限るべきでは？

等々の意見が考えられます。
以上を検討のうえ、理事会ではＥクラブには反対する旨の決定を致しました。
クラブ協議会でのご検討を宜しくお願いいたします。

※協議の結果、当クラブは反対としました。

■樺澤会員研修委員長

平成22年6月3日に開催された地区の国際ロータリー2010年規定審議会報告会に出席しましたが、各制定案、決議案について、各改正案について一齣毎にパワーポイントにより、要約の説明があったのみで、詳細はホームページから取り出して知った次第です。その中で、私が知った範囲内で、制定案10-87（五大奉仕部門、「青少年（新世代と改正）奉仕」）についてご説明させて頂きます。
ご承知のとおり我がクラブでは、クラブ細則に社会奉仕委員会に属する青少年奉仕委員会は、「青少年問題に対する諸責務を遂行する上に役立つ指導と援助を与えるような方策を考案し、これを実施するものとする。」とされ、国際奉仕委員会に属する青少年交換委員会は、「青少年交換に関する諸責務を遂行するものとする。」とされています。
一方、改正された青少年（新世代）奉仕は、「指導力養成活動、社会奉仕プロジェクト及び国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を育む交換プログラムを通じて、青少年並びに若者によって好ましい変化がもたらされることを認識するものである。」とされていますが、このように改正する意義が理解できません。しかも、この改正案は、奉仕の概念を変えるとして2004年の規定審議会で却下され、6年後の今は奉仕の概念を変えないのか疑問があります。さらに、五大奉仕とすることによる「綱領」との整合性にも疑問があります。また、ＣＬＰの関係からクラブ細則の改正も行わなくてはなりません。よって、この制定案10-87（第五奉仕部門、「青少年（新世代と改正）奉仕」を加える件）については、反対したいと存じます。

※協議の結果、当クラブは反対としました。

■卓話

■挨拶：
入会予定者
樋口 剛史 様

漆原会員増強委員長の卓話の前に本人より挨拶の言葉がありました。

■卓話者：
漆原会員増強委員長

8月の会員月間に因んで

8月は会員増強及び、拡大月間です。2009年8月号のロータリーの友に「日本のロータリアンの減少が止まらない。日本の会員数動向はピーク時の1996年11月末から2009年5月末迄の間に35,804人の退会があり、残念にも13年連続減少です。退会理由は死亡、転勤、社業不振など多数の原因がありますが、この減少傾向は社会情勢などから、まだまだ続く気配です。」と記されています。又、2010年5月18日第2580地区次年度地区会員増強セミナーでは、過去5ヵ年の推移として、2005年6月3598名、2010年4月3245名で353名の減でした。当東村山ロータリーも過去10年間で二番目に低い35名のスタートとなりました。この大変な時、山本会長に会員増強委員を任命して頂き大変感謝しております･･･？
多田宏会員増強拡大委員長は量より質、その時の一番を入会させるよう努力して欲しいと言っていましたが、まず、入会させて後で育てても良いのではないか、といった声も有りました。
当クラブはそのような事を考慮しながら、まず5名増の40名を目標に会員増強に努めたいと思います。皆様の協力がないと出来ない事です。一人でも多くの方の推薦を頂けますようお願い致します。

■点鐘：山本会長